

イバラキ ドクターズライフ

茨城 地域医療 専門研修



<http://ibaraki-dl.jp/>



問い合わせ先

茨城県地域医療支援センター (茨城県保健医療部医療局 医療人材課 医師確保G内)

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 TEL:029-301-3191 FAX:029-301-3194 E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp

医学生や医師のみなさんを対象に、茨城県内での研修・勤務に役立つ情報を受け取ることができるi-doctor会員を募集中です。

(地域医療支援センターホームページから登録できます)



茨城県

IBARAKI

専門研修

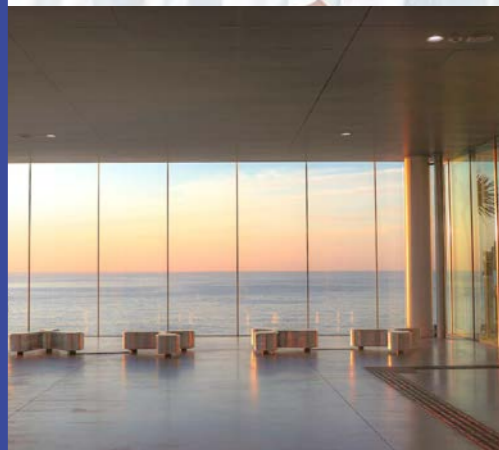
プログラムパンフレット

専攻医としての
一歩を、この場所で



2026

令和8年発行

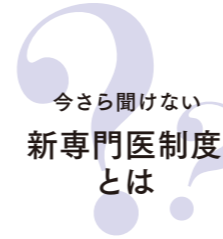


新専門医制度について

2018年度から日本専門医機構によって開始された「専門医」の新しい認定制度です

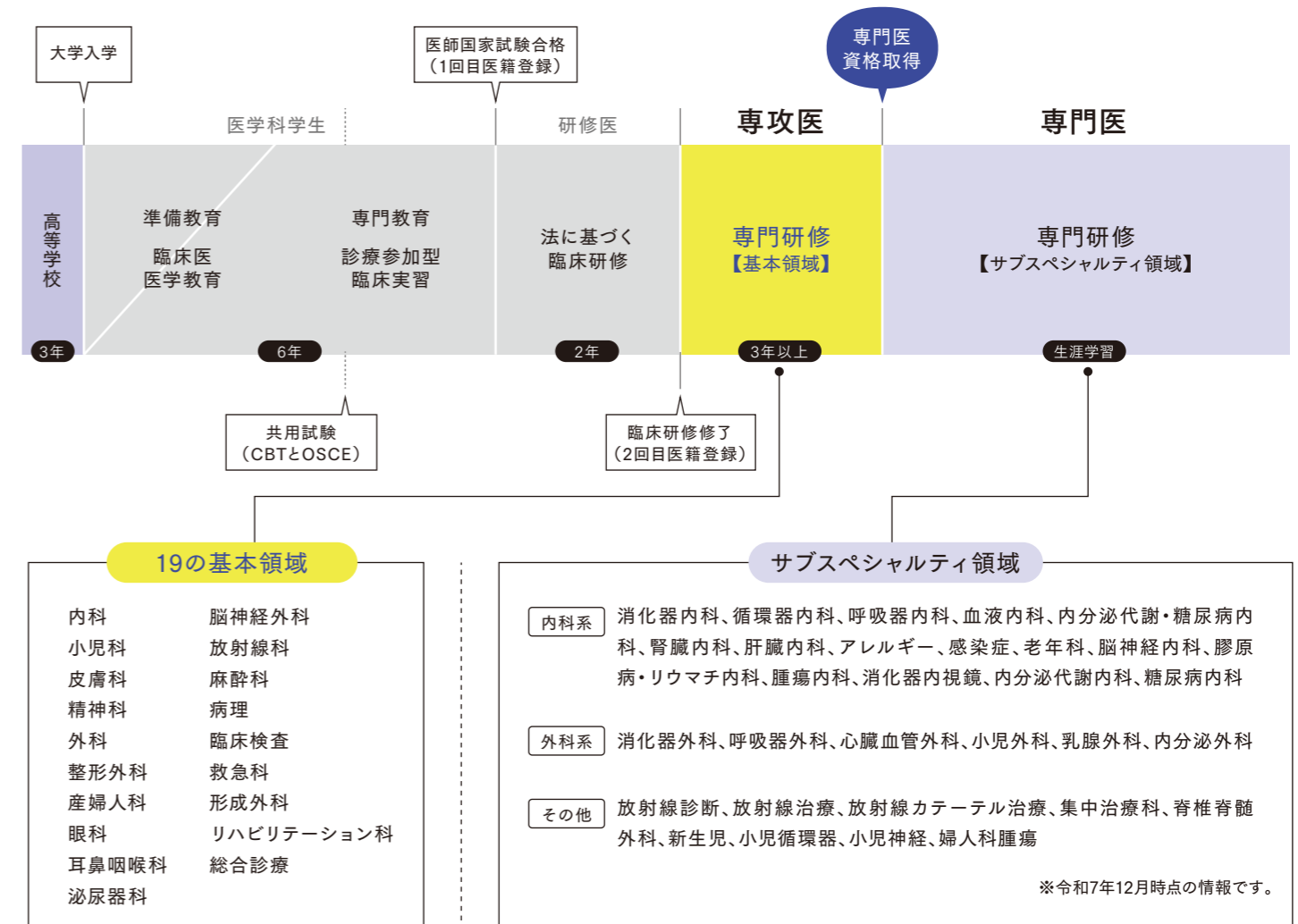
目次 INDEX

新専門医制度について	01
基幹病院一覧	02
内科	04
小児科・皮膚科	06
精神科	07
外科	08
整形外科・産婦人科	09
眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科	10
脳神経外科・放射線科	11
麻酔科・病理	12
臨床検査・救急科	13
形成外科・リハビリテーション科	14
総合診療	15
表紙を彩る、茨城の名所	16
茨城県地域医療支援センターについて	17
茨城県の医療について	18
一般若手医師対象事業	20



新専門医制度は、研修制度の拡充を目的に制定され、平成30年4月から開始されました。旧制度では各学会にある専門医の認定基準が統一されておらず、質にばらつきがあることが問題でした。そこで、日本専門医機構が中心となって、専門医の認定と養成プログラムの評価・認定を統一的去に行い、一定の技量を身につけたことを証明できる制度になりました。新専門医制度では、19の基本領域からいずれか1つの専門医資格を取得し、サブスペシャリティ領域でより深く学んでいきます。これまで「後期研修」と言われてきたものが「専門研修」となりました。

専門医になるまでの流れ



令和9年度専攻医募集の日程(予定)

一次登録 令和8年秋頃募集開始(予定)

▶詳しくはこちら 一般社団法人 日本専門医機構 <http://jmsb.or.jp>



茨城県では、これから専門医を目指す皆さんが、県内で充実した専門研修を実施できるよう各基幹施設がプログラムを用意しています。(詳細はWEBサイト「イバラキドクターズライフ」をご覧ください)

▶詳しくはこちら <https://ibaraki-dl.jp/about/senmoni/>



基幹病院一覧

令和8年度(2026年度)向け茨城県内専門研修プログラム基幹施設

茨城県では、これから専門医を目指す皆さんが、県内で充実した専門研修を実施できるよう各基幹施設がプログラムを用意しています。

専門研修はぜひ充実した研修ができる茨城県内で！



茨城県の各領域の基幹施設一覧

掲載番号	基幹施設名	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ科	総合診療
1	総合病院 水戸協同病院	●					●													
2	水戸済生会 総合病院	●																		
3	独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター	●				●														
4	茨城県立中央病院	●				●														
5	株式会社日立製作所 日立総合病院	●				●														
6	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	●																		
7	総合病院 土浦協同病院	●	●			●	●	●			●						●			
8	筑波記念病院	●				●								●			●		●	
9	筑波大学附属病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10	筑波メディカル センター病院	●															●			●
11	東京医科大学 茨城医療センター	●		●					●											●
12	JAとりで 総合医療センター	●																		
13	牛久愛和総合病院	●																		
14	茨城県立こども病院		●																	
15	茨城県立 こころの医療センター				●															
16	栗田病院				●															
17	丸山荘病院				●															
18	北茨城市民病院																			●
19	ホスピタル坂東				●															
20	水海道さくら病院																			●

※一覧のうち、黄色セルのプログラムについて次ページ以降に詳細情報を掲載しております。

内科

MAP 掲載番号① **【総合病院水戸協同病院】**
総合病院水戸協同病院内科専門研修プログラム

多彩な症例と豊富な専門医のバックアップ体制により、入院から退院まであらゆる内科患者の診療にあたることができます。

連携施設 東京科学大学病院、帝京大学ちば総合医療センター、都立多摩総合病院、飯塚病院、福島県立医科大学会津医療センター 他

検査数等 総合診療科においてコモンな内科入院症例（心不全、喘息、急性腎不全、急性肺炎など）を同時に担当します

当科病床数	160床
研修期間	3～4年
連携施設数	43施設
医師数	62名
指導医数	17名
募集定員	8名
入職実績(23～25実績)	12名
外勤の可否	否

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 内分泌代謝 糖尿病内科

年取例(1年次) 約75万/年 外来患者数 263人/日

入院患者数 120人/日 当直回数 3/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号② **【水戸済生会総合病院】**
水戸済生会総合病院内科専門医プログラム

研修目標に「総合診断能力を有するスペシャリスト」「疾患のみならず患者さんを診ることが出来る」を掲げて、各診療科とも幅広く経験ができるのが特徴です。各診療科では、異動することなく専門医取得が可能です。

連携施設 筑波大学附属病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、茨城東病院、常陸大宮済生会病院 他

検査数等 【消化器内科】上部消化管内視鏡4,888件、下部消化管内視鏡1,297件、ERCP 65件【循環器内科】PCI 265件、アブレーション376件、下投EVT 129件、TAVI 44件【腎臓内科】腎生検44件、新規透析導入110件、シャントPTA 468件

当科病床数	161床
研修期間	3年
連携施設数	14施設
医師数	39名
指導医数	10名
募集定員	4名
入職実績(23～25実績)	6名
外勤の可否	要相談

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 膠原病 リウマチ内科

年取例(1年次) 約990万/年 外来患者数 325人/日

入院患者数 125人/日 当直回数 1～2/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号③ **【独立行政法人国立病院機構水戸医療センター】**
国立病院機構水戸医療センター 内科専門研修プログラム

水戸医療圏の中心的急性期病院として、診療科間の垣根のない連携のもと、地域医療に即した実践的な内科研修を行います。総合内科専門医に加え、循環器・呼吸器・消化器・神経・血液など各分野の指導医が在籍し、希望に応じて連携施設での研修やサブスペシャリティ領域の並行研修も可能です。学会発表や論文執筆も含め、充実した研修環境を整えています。

連携施設 筑波大学附属病院、東北大学病院、茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会総合病院、ひたちなか総合病院 他

検査数等 2024年度実績：CT件数17,663件、MRI件数6,479件

当科病床数	140床
研修期間	3年
連携施設数	11施設
医師数	32名
指導医数	23名
募集定員	4名
入職実績(23～25実績)	1名
外勤の可否	要相談

サブスペ: 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 血液 アレルギー

年取例(1年次) 約1,100万/年 外来患者数 265.8人/日

入院患者数 186.3人/日 当直回数 3/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号④ **【茨城県立中央病院】**
茨城県立中央病院内科専門研修プログラム

水戸保健医療圏の急性期病院として、県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、必要に応じた可塑性のある内科専門医として茨城県全域を支える内科専門医の育成を行います。

連携施設 筑波大学附属病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、常陸大宮済生会病院、小山記念病院 他

検査数等 CT件数：23,489/MRI.5T件数：3,449/PET件数：2,437/上下消化管内視鏡：5,551/呼吸器内視鏡：170/心臓超音波検査：3,380

当科病床数	215床
研修期間	3年
連携施設数	17施設
医師数	58名
指導医数	34名
募集定員	6名
入職実績(23～25実績)	7名
外勤の可否	要相談

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝 糖尿病内科 脳神経内科 腎臓内科 膠原病 リウマチ内科

年取例(1年次) 約1,100万/年 外来患者数 325.6人/日

入院患者数 283.37人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑤ **【株式会社日立製作所日立総合病院】**
日立総合病院内科専門研修プログラム

茨城県東北地区の基幹病院であり、コモンティーズから、救急疾患、難病まで幅広い症例を経験できます。また、各サブスペシャリティ学会の認定施設として、高度な医療を経験できる他、大学病院等大病院と連携することにより、リサーチマインドも涵養できます。

連携施設 筑波大学附属病院、ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、高萩協同病院、村立東海病院 他

検査数等 CT:27,365件/年、MRI：7,826件/年 内視鏡(上部)：2,954件/年、(下部)：2,284件/年

当科病床数	227床
研修期間	3年
連携施設数	20施設
医師数	53名
指導医数	20名
募集定員	5名
入職実績(23～25実績)	5名
外勤の可否	否

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝 糖尿病内科 腎臓内科 脳神経内科

年取例(1年次) 約900万/年 外来患者数 355人/日

入院患者数 212人/日 当直回数 2/月 研究日 2/月

MAP 掲載番号⑥ **【株式会社日立製作所ひたちなか総合病院】**
株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 内科専門研修プログラム

人口36万人の2次医療圏唯一の総合病院として、J-OSLERの120症例・56疾患をはじめ、幅広い内科疾患を各分野バランスよく経験できます。総合内科から専門内科まで充実した指導体制が整っており、修了後も当院で各サブスペシャリティ資格の取得をめざせます。病理専門医在籍のもと剖検症例も経験でき、JMCCも毎年自主開催可能です。

連携施設 筑波大学附属病院、東京科学大学病院、昭和医科大学病院、諏訪中央病院、島根県立中央病院 他

検査数等 2024年度実績 心カテ388件、(内PCI160件)、心エコー:2,632件(内、経食道エコー36件)内視鏡：(上部)2,545件、(下部)2,263件

当科病床数	150床
研修期間	3年
連携施設数	23施設
医師数	35名
指導医数	9名
募集定員	5名
入職実績(23～25実績)	6名
外勤の可否	否

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 膠原病 リウマチ内科 消化器内視鏡 脳神経内科

年取例(1年次) 約890万/年 外来患者数 265.3人/日

入院患者数 142.2人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

※専門医機構のサブスペのみを掲載

MAP 掲載番号⑦ **【総合病院土浦協同病院】**
内科専門研修プログラム

将来の専門領域やキャリアパスの展望を踏まえ、内科専門医としての資格要件を満たすことを最優先とし、個々の専攻医のニーズに即した研修が可能となるように、ローテーションを設計しています。

連携施設 獨協医科大学、筑波大学附属病院、JAとりで総合医療センター、日立製作所日立総合病院、横須賀共済病院 他

検査数等 -

当科病床数	188床
研修期間	3年
連携施設数	22施設
医師数	8名
指導医数	20名
募集定員	7名
入職実績(23～25実績)	7名
外勤の可否	条件付

サブスペ: 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝 糖尿病内科

年取例(1年次) 約78万/月 外来患者数 500人/日

入院患者数 270人/日 当直回数 2.5/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑧ **【筑波記念病院】**
筑波記念病院内科専門研修プログラム

経験豊富な指導医とともに、臨床の醍醐味を経験することができます。地域医療の最前線で難症例に挑み、リハ部門との連携の下、実践的な臨床経験を鍛え上げ、卓越した診断能力や患者の心を掴む人間力を養います。

連携施設 筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院、協和中央病院、心臓血管研究附属病院、日立総合病院、水戸医療センター、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院 他

検査数等 CT件数 23,000/年、MRI件数 10,000/年、内視鏡件数 5,500/年

当科病床数	200床
研修期間	3年
連携施設数	11施設
医師数	31名
指導医数	23名
募集定員	3名
入職実績(23～25実績)	4名
外勤の可否	否

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 脳神経内科

年取例(1年次) 約900万/年 外来患者数 340人/日

入院患者数 180人/日 当直回数 3/月 研究日 0.5/週

MAP 掲載番号⑨ **【筑波大学附属病院】**
筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム

臨床研修2年修了後、専門研修1年目から各サブスペシャリティ科にFixしつつ研修することが可能です。また、Fixしないで総合内科に所属し研修することも可能です。多様なキャリアに対応しています。

連携施設 日立総合病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター病院、筑波学園病院 他

検査数等 令和6年度:内視鏡検査件数:296件 手術件数:4,431件

当科病床数	217床
研修期間	3年
連携施設数	46施設
医師数	105名
指導医数	91名
募集定員	50名
入職実績(23～25実績)	104名
外勤の可否	可

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 内分泌代謝 糖尿病内科 腎臓内科 膠原病 リウマチ内科 血液 脳神経内科 腫瘍内科 感染症

年取例(1年次) 約600万/年 外来患者数 502人/日

入院患者数 204人/日 当直回数 0.5/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑩ **【筑波メディカルセンター病院】**
筑波メディカルセンター病院 内科専門研修プログラム

県南の中核病院として、三次救急から地域連携まで幅広く経験できます。がん診療拠点病院の強みを活かし、薬物療法や緩和ケアを含めた標準治療を実践。地域医療と急性期診療を両立した質の高い内科研修が可能です。

連携施設 筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、茨城東病院、水戸協同病院、東京医療センター、霞ヶ浦医療センター、小倉記念病院、上尾中央病院、都立大久保病院、日立総合病院

検査数等 心臓カテーテル検査検査治療数1,084件、冠動脈インターベンション治療(PCI)475件、末梢血管に関する血管内治療(EVT)133件、胸鏡ドレーン術(気胸ならびに胸水)51件、ネーザルハイフロー55件、NPPV26件、人工呼吸器(気管挿管)13件、ECMO1件、上部内視鏡検査件数1,949件、下部内視鏡検査件数1,530件、ERCP関連件数249件

当科病床数	142床
研修期間	3年
連携施設数	9施設
医師数	39名
指導医数	16名
募集定員	3名
入職実績(23～25実績)	2名
外勤の可否	否

サブスペ: 循環器内科 呼吸器内科

年取例(1年次) 約850万/年 外来患者数 124人/日

入院患者数 143人/日 当直回数 2～4/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑪ **【東京医科大学茨城医療センター】**
内科専門医プログラム

東京医科大学茨城医療センターを基幹とし、地域医療機関との密接な連携のもと、急性期から慢性期まで幅広い症例を経験できる。全人的医療を重視しつつ、各内科分野の高い専門性を段階的に修得できる点が魅力である。

連携施設 【相互連携】東京医科大学病院、筑波大学附属病院、茨城県立中央病院、筑波記念病院、日立製作所日立総合病院 他 【特別連携施設】茨城西南医療センター病院、北茨城市民病院、吾本病院 他

検査数等 CT件数：18,510件、MRI件数：8,049件、内視鏡件数：4,006件

当科病床数	85床
研修期間	3年
連携施設数	18施設
医師数	31名
指導医数	20名
募集定員	5名
入職実績(23～25実績)	5名
外勤の可否	可

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 内分泌代謝 糖尿病内科 脳神経内科 腎臓内科

年取例(1年次) 約30万/月 外来患者数 232人/日

入院患者数 93.5人/日 当直回数 2/月 研究日 1/週

MAP 掲載番号⑫ **【JAとりで総合医療センター】**
JAとりで総合医療センター 内科専門研修プログラム

内科全科に専門医を配置し、大学との連携やCPC、勉強会も充実。基幹施設との合同カンファレンス等を通じ、高度な専門性と多角的な視点を兼ね備えた内科専門医を養成する、教育体制の整ったプログラムです。

連携施設 東京科学大学病院、秀和総合病院、東京都立豊島病院、牛久愛和総合病院、土浦協同病院 他

検査数等 CT件数20,000/年 MRI件数7,000/年 内視鏡件数5,800/年

当科病床数	414床
研修期間	3年
連携施設数	23施設
医師数	40名
指導医数	16名
募集定員	3名
入職実績(23～25実績)	6名
外勤の可否	可

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝 糖尿病内科 脳神経内科 腎臓内科

年取例(1年次) 約1,000万/年 外来患者数 375人/日

入院患者数 179人/日 当直回数 3/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑬ **【牛久愛和総合病院】**
牛久愛和総合病院内科専門研修プログラム

画一的なレールに乗せるのではなく、一人一人のキャリアプランに合わせたオーダーメイドの研修を心がけています。

連携施設 筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、土浦協同病院、JAとりで総合医療センター 他

検査数等 心臓MRI93件、冠動脈197件、冠動脈MRA97件

当科病床数	266床
研修期間	3年
連携施設数	4施設
医師数	26名
指導医数	12名
募集定員	3名
入職実績(23～25実績)	4名
外勤の可否	可

サブスペ: 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝 糖尿病内科 脳神経内科 腎臓内科 膠原病 リウマチ内科

年取例(1年次) 約872万/年 外来患者数 253人/日

入院患者数 8人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

※専門医機構のサブスペのみを掲載

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

総合診療

総合診療

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

テリハヒリ科

小児科

MAP 掲載番号⑦ 【総合病院土浦協同病院】
小児科専攻医プログラム

地域に根ざした小児医療の実践を通して、幅広い分野の疾患への対応を経験できます。common disease、救急医療に関してはもちろん、大学病院・子ども病院に準じた専門的な疾患の診療経験もできます。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
40床	3年	9施設	24名	16名	6名	2名	否

連携施設 東京科学大学病院、茨城県立こども病院、JAとりて総合医療センター、川口市立医療センター、東京北医療センター 他

検査数等 救急車搬送972件、ビデオ脳波20件、心臓カテーテル10件

MAP 掲載番号⑨ 【筑波大学附属病院】
筑波大学附属病院小児科研修医(専攻医)プログラム

小児の幅広い領域(新生児、循環器、血液腫瘍、神経、消化器、内分泌、免疫アレルギー、腎臓、一般)を研修し、高い臨床能力を身に着けます。超音波・集中治療など分野横断の全身管理技術の向上にも注力しています。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
89床	3年	15施設	44名	20名	10名	13名	可

連携施設 茨城県立こども病院、筑波メディカルセンター病院、茨城西南医療センター病院、日立総合病院、茨城県立医療大学付属病院 他

検査数等 小児内視鏡検査 180件、小児心臓カテーテル検査/治療 100件、新生児蘇生術 150件

MAP 掲載番号⑭ 【茨城県立こども病院】
茨城こども小児科専攻医プログラム

小児専門病院として高度な専門医療に対応。小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応や急性疾患の管理を研修します。連携・関連施設では地域の特性と病院の役割に応じた経験ができます。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
115床	3年	5施設	29名	13名	5名	12名	否

連携施設 日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸済生会総合病院、筑波大学附属病院、茨城福祉医療センター 他

検査数等 小児内視鏡 150件、小児心臓カテーテル検査・治療 90件、小児救急車受け入れ台数 2,700件

皮膚科

MAP 掲載番号⑩ 【筑波大学附属病院】
筑波大学附属病院皮膚科研修プログラム

大学と県内主要病院において、皮膚科全領域に渡る豊富な症例数と充実した指導医の下で研修できます。遺伝性疾患、腫瘍、アレルギー、病理、レーザーなど多くのサブスペシャリティ志望者に対応しています。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
12床	5年	16施設	18名	8名	8名	12名	可

アレルギー

連携施設 日立総合病院、水戸協同病院、水戸赤十字病院、茨城県立中央病院、土浦協同病院 他

検査数等 令和6年度手術件数：640件(悪性腫瘍全身麻酔下手術多数)、薬物・食品負荷試験：28件

MAP 掲載番号⑪ 【東京医科大学茨城医療センター】
皮膚科研修プログラム

東京医科大学茨城医療センターを基幹に多施設連携で豊富な症例と手術を経験。専門外来・チーム医療・研究環境が充実し、臨床力と研究力を兼ね備えた皮膚科専門医を育成する研修。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
12床	5年	5施設	7名	2名	2名	3名	可

検査数等 皮膚生検数：155件、外来手術数：350件

連携施設 東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、新原志木中央総合病院、戸田中央総合病院、上尾中央総合病院 他

精神科

MAP 掲載番号⑮ 【茨城県立こころの医療センター】
茨城県立こころの医療センター精神科専門研修プログラム

茨城県内の3つの基幹施設が、相互に連携施設となっている。当院は、精神科救急などの政策医療を担い、市町村と連携してアウトリーチを行うなど地域医療に貢献しており、充実した研修を行うことができる。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
276床	3年	4施設	16名	10名	3名	1名	否

検査数等 3TのMRI

連携施設 栗田病院、石崎病院、筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院

年収例(1年次) 約1,000万/年 外来患者数 288人/日

入院患者数 190人/日 当直回数 4/月 研究日 要相談

MAP 掲載番号⑯ 【栗田病院】
栗田病院 精神科専門研修プログラム

県東部から北部にかけての精神医療、認知症病院の基幹病院として、日常診療、研修、将来のスキルアップ等相談しやすい環境を作り、若く熱心な職員とともに今後の地域精神医療をより実践的に研修できるコースである。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
203床	3年	3施設	25名	6名	1名	4名	可

検査数等 1日外来患者数 138.8

連携施設 茨城県立こころの医療センター、筑波大学附属病院、こころのクリニック水戸

年収例(1年次) 約1,100万/年 外来患者数 138.8人/日

入院患者数 1.5人/日 当直回数 4/月 研究日 1/週

MAP 掲載番号⑰ 【丸山荘病院】
医療法人滝田会丸山荘病院精神科専門研修プログラム

基幹病院と連携病院をローテートして研修を行っていくが、その内容は専攻医の希望、各病院の状況により組み替えることが可能である。専攻医の興味や習熟度により、研修スケジュールを立てる。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
194床	3年	3施設	8名	5名	1名	0名	否

検査数等 外来入院治療以外に心理検査やカウンセリングも充実しています。

連携施設 東京医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター、成仁病院、西八王子病院

年収例(1年次) 約1,000万/年 外来患者数 20人/日

入院患者数 0.13人/日 当直回数 4/月 研究日 0/週

MAP 掲載番号⑱ 【ホスピタル坂東】
ホスピタル坂東 精神科専門研修プログラム

精神科専門医としての資格要件を満たすことを優先し、スムーズに研修がおこなえるようプログラムを構成しています。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
350床	3年	3施設	13名	4名	2名	5名	可

検査数等 各心理検査、CT/MRI、脳波など

連携施設 筑波大学附属病院、とよさと病院、船橋北病院

年収例(1年次) 約900万/年 外来患者数 75人/日

入院患者数 240人/日 当直回数 4/月 研究日 1/週

※専門医機構のサブスぺのみを掲載

外科

MAP 掲載番号③ 【独立行政法人国立病院機構水戸医療センター】
国立病院機構水戸医療センター 外科専門研修プログラム

3次救急病院としてドクターヘリを運用し、多臓器損傷を含む重症救急から外科領域全般まで幅広い症例を経験できます。緊急手術の執刀機会にも恵まれ、救急対応力と外科専門医取得に必要な実践力を養えます。さらに、消化器外科・心臓外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科・内分泌外科など、各サブスペシャリティ専門医取得にもつながる研修が可能です。

当科病床数	140床	研修期間	3年	連携施設数	6施設	医師数	35名	指導医数	24名	募集定員	5名	入職実績(23~25実績)	1名	外勤の可否	要相談
-------	------	------	----	-------	-----	-----	-----	------	-----	------	----	---------------	----	-------	-----

サブスペ: 消化器外科, 心血管外科, 呼吸器外科, 小児外科, 乳腺外科, 内分泌外科

年収例(1年次) 約1,100万/年 外来患者数 117人/日

入院患者数 89.9人/日 当直回数 3/月 研究日 0/週

連携施設: 東北大学病院、常陸大宮済生会病院、ひたちなか総合病院、水府病院、茨城県立こども病院、小山記念病院 他

検査数等: 2024年度実績: CT件数17,663件、MRI件数6,479件

MAP 掲載番号④ 【茨城県立中央病院】
茨城県立中央病院外科専門研修プログラム

県内での外科専門研修を希望する医師において、幅広く十分な外科専門研修を行う中で、同時に医師不足地域などでの医療研修を行うことが出来るように、個別のプログラムを計画する柔軟性を有しています。

当科病床数	47床	研修期間	3年	連携施設数	6施設	医師数	23名	指導医数	15名	募集定員	1名	入職実績(23~25実績)	3名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	-----	-----	-----	------	-----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 消化器外科, 呼吸器外科, 心血管外科, 乳腺外科

年収例(1年次) 約58万他/月 外来患者数 90.62人/日

入院患者数 57.64人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

連携施設: 茨城県立こども病院、常陸大宮済生会病院、総合病院水戸協同病院、日立製作所ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、水戸済生会総合病院

検査数等: 年間手術数(2023年実績) 合計: 1,149例/消化管・腹部内臓: 618例/乳腺: 110例/呼吸器: 261例/心臓・大血管: 58例/末梢血管: 102例/内視鏡手術: 527例

MAP 掲載番号⑥ 【株式会社日立製作所日立総合病院】
日立総合病院外科専門研修プログラム

茨城県東北地区の基幹病院であり、外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心血管外科、呼吸器外科、乳腺外科)の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動する事が可能です。

当科病床数	66床	研修期間	3年	連携施設数	1施設	医師数	22名	指導医数	7名	募集定員	2名	入職実績(23~25実績)	3名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	-----	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 消化器外科, 呼吸器外科, 心血管外科, 乳腺外科

年収例(1年次) 約900万/年 外来患者数 111人/日

入院患者数 62人/日 当直回数 2/月 研究日 2/月

連携施設: ひたちなか総合病院

検査数等: CT: 27,365件/年、MRI: 7,826件/年、内視鏡(上部): 2,954件/年、(下部): 2,284件/年

MAP 掲載番号⑦ 【総合病院土浦協同病院】
土浦協同病院 外科専門研修プログラム

将来の専門領域やキャリアパスの展望を踏まえ、外科専門医としての資格要件を満たすことを最優先とし、個々の専攻医のニーズに即した研修が可能となるように、ローテーションを設計しています。

当科病床数	76床	研修期間	3年	連携施設数	3施設	医師数	27名	指導医数	8名	募集定員	3名	入職実績(23~25実績)	5名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	-----	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 消化器外科

年収例(1年次) 約87万/月 外来患者数 115人/日

入院患者数 61人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

連携施設: 東京科学大学病院 ひたちなか総合病院 友愛記念病院

検査数等: 外科手術件数約2,000件 消化器外科手術件数約800件

MAP 掲載番号⑧ 【筑波記念病院】
筑波記念病院外科専門研修プログラム

地域医療の中核をなす当院の研修は、専攻医の執刀件数が圧倒的に多く、ダウインチ等を活用した高度な外科臨床能力を基礎にした、いち早く一人立ちできる優れた外科医を育てられる環境・医療水準にあります。

当科病床数	70床	研修期間	3年	連携施設数	8施設	医師数	10名	指導医数	9名	募集定員	2名	入職実績(23~25実績)	1名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	-----	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 消化器外科, 呼吸器外科, 心血管外科

年収例(1年次) 約900万/年 外来患者数 120人/日

入院患者数 60人/日 当直回数 3/月 研究日 0.5日/週

連携施設: 東京医科大学茨城医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京科学大学病院、北茨城市民病院、茨城県立こども病院 他

検査数等: 全身麻酔: 2,500件/年、局麻酔: 700件/年

MAP 掲載番号⑨ 【筑波大学附属病院】
筑波大学新外科専門医研修プログラム

将来の専門領域やキャリアパスの展望を踏まえ、外科専門医としての資格要件を満たすことを前提とし、各サブスペシャリティの修練を行います。個々の専攻医のニーズに即した研修ローテーションを設計します。

当科病床数	73床	研修期間	3年	連携施設数	40施設	医師数	60名	指導医数	37名	募集定員	20名	入職実績(23~25実績)	25名	外勤の可否	可
-------	-----	------	----	-------	------	-----	-----	------	-----	------	-----	---------------	-----	-------	---

サブスペ: 消化器外科, 呼吸器外科, 心血管外科, 小児外科, 乳腺甲状腺内分泌外科

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 181人/日

入院患者数 96人/日 当直回数 1~2/月 研究日 0/週

連携施設: 茨城県立中央病院、土浦協同病院、日立総合病院、茨城西南医療センター病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター 他

検査数等: 令和6年度手術件数: 3,623件 手術だけでなく、内視鏡、超音波、透視下処置などさまざまな技術を習得できます。低侵襲手術も積極的に行なっています。

整形外科

MAP 掲載番号① 【総合病院水戸協同病院】
水戸地域整形外科専門研修プログラム

合併症の多い患者に対し手術のみではなく、適切な保存治療も行っており、またリハビリテーション部と密接に連携することで、より高いレベルでの早期離床、早期復帰を目指しております。

当科病床数	80床	研修期間	4年	連携施設数	10施設	医師数	10名	指導医数	4名	募集定員	3名	入職実績(23~25実績)	0名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	------	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 脊髄脊髄外科

年収例(1年次) 約75万/月 外来患者数 105.4人/日

入院患者数 65.8人/日 当直回数 3/月 研究日 0/週

連携施設: 筑波大学附属病院、ひたちなか総合病院、高萩協同病院 他

検査数等: 手術件数 1,554件 (2025年1月~12月)

MAP 掲載番号⑦ 【総合病院土浦協同病院】
総合病院土浦協同病院 整形外科専門研修プログラム

東京科学大学病院(整形外科)との連携プログラムになり、当プログラムは東京科学大学病院(整形外科)入局を前提としています。県外勤務期間あり。当プログラム希望の際は、科学大へ問い合わせをしてください。

当科病床数	66床	研修期間	4年	連携施設数	11施設	医師数	10名	指導医数	5名	募集定員	3名	入職実績(23~25実績)	1名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	------	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 脊髄脊髄外科

年収例(1年次) 約86万/月 外来患者数 64人/日

入院患者数 86人/日 当直回数 1/月 研究日 0/週

連携施設: 東京科学大学病院、がん研究会有明病院、JAとりで総合医療センター、日産厚生会、同愛記念病院 他

検査数等: 令和6年度手術件数: 1,419件

MAP 掲載番号⑨ 【筑波大学附属病院】
筑波大学整形外科専門研修プログラム

大学と多数の連携施設を活かしたローテーションにより、外傷・関節・脊椎・スポーツまで幅広く経験できます。豊富な執刀機会と研究・学術活動を通じ、自立した整形外科医を育成します。

当科病床数	46床	研修期間	4年	連携施設数	32施設	医師数	31名	指導医数	18名	募集定員	17名	入職実績(23~25実績)	32名	外勤の可否	可
-------	-----	------	----	-------	------	-----	-----	------	-----	------	-----	---------------	-----	-------	---

サブスペ: 脊髄脊髄外科

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 95人/日

入院患者数 47人/日 当直回数 2/月 研究日 0/週

連携施設: 水戸協同病院、茨城県西部メディカルセンター 他

検査数等: 令和6年度手術件数: 1,222件

産婦人科

MAP 掲載番号⑦ 【総合病院土浦協同病院】
総合病院土浦協同病院 産婦人科専門研修プログラム

周産期、腫瘍を中心に、比較的commonな症例から難治例まで幅広い症例を経験することができます。個々の専攻医のニーズに沿った研修計画を立てています。

当科病床数	23床	研修期間	3年	連携施設数	7施設	医師数	14名	指導医数	6名	募集定員	3名	入職実績(23~25実績)	1名	外勤の可否	否
-------	-----	------	----	-------	-----	-----	-----	------	----	------	----	---------------	----	-------	---

サブスペ: 産科, 婦科

年収例(1年次) 約124万/月 外来患者数 100人/日

入院患者数 40人/日 当直回数 6/月 研究日 0/週

連携施設: JAとりで総合医療センター、東京科学大学病院、高萩協同病院、小山記念病院、田園都市レディースクリニック 他

検査数等: 分娩数650件/年 帝王切開数250件/年 婦人科手術件数300件/年 悪性腫瘍初回治療件数75件/年

MAP 掲載番号⑨ 【筑波大学附属病院】
筑波大学産婦人科研修プログラム

さまざまな出身大学の専攻医が多様性を活かし研修しています。希望により大学院進学も可能です。ワークライフバランスにも配慮した研修が可能です。

当科病床数	66床	研修期間	3年	連携施設数	18施設	医師数	32名	指導医数	14名	募集定員	15名	入職実績(23~25実績)	20名	外勤の可否	可
-------	-----	------	----	-------	------	-----	-----	------	-----	------	-----	---------------	-----	-------	---

サブスペ: 産科, 婦科

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 133人/日

入院患者数 62人/日 当直回数 4/月 研究日 0/週

連携施設: 水戸済生会総合病院、茨城県立中央病院、日立総合病院、茨城西南医療センター病院、筑波学園病院 他

検査数等: 令和6年度手術件数: 2,272件 / 分娩(正常分娩): 467件 (異常分娩): 421件

眼科

MAP 掲載番号⑩



【筑波大学附属病院】 眼科専門研修プログラム

幅広い分野の患者を診療でき、外眼、網膜硝子体、白内障、緑内障、涙道、角膜移植など、多様な手術を施行している。他科連携による全身疾患関連症状も研修できる。また学会報告や論文作成の機会も豊富にある。

連携施設

総合病院水戸協同病院、日立総合病院、水戸済生会総合病院、総合病院土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
24床	4年	23施設	22名	8名	6名	10名	可

検査数等 入院/退院患者数442人/439

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 136人/日

入院患者数 25人/日 当直回数 0/月 研究日 0/週



MAP 掲載番号⑪



【東京医科大学茨城医療センター】 眼科研修プログラム

東京医科大学茨城医療センターを基幹に、豊富な症例と手術件数のもと眼科6領域を網羅的に研修し、臨床・研究の両面で専門性の高い眼科医を育成するプログラム。

連携施設

東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央病院、厚生中央病院

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
13床	4年	4施設	6名	3名	3名	0名	可

検査数等 白内障手術：約1,000件、硝子体手術：約300件、緑内障手術：約150件、蛍光眼底造影検査：約300件

年収例(1年次) 約30万/月 外来患者数 60人/日

入院患者数 9.2人/日 当直回数 1/月 研究日 1/週



耳鼻咽喉科

MAP 掲載番号⑨



【筑波大学附属病院】 筑波大学附属病院耳鼻咽喉科 専門研修プログラム

各専門分野の指導医が耳鼻咽喉科学の魅力をお伝えします。関連病院では豊富な症例数を経験し、研鑽を積んでいただきます。定期的にキャリアや働き方に関してヒアリングを行っています。見学お待ちしております。

連携施設

筑波大学附属病院、茨城県立中央病院、水戸協同病院、筑波学園病院、水戸医療センター、茨城西南医療センター病院

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
15床	4年	5施設	30名	14名	5名	7名	可

検査数等 令和6年度手術件数：831件

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 53人/日

入院患者数 14人/日 当直回数 0/月 研究日 0/週



泌尿器科

MAP 掲載番号⑧



【筑波大学附属病院】 筑波大学腎泌尿器外科研修プログラム

関東一円の関連施設で多様な症例を経験し、臨床・研究の両立を通じた充実したキャリア形成が可能。都心直結の立地に加え、女性医師も安心して長く働ける柔軟な研修環境を整えています。

連携施設

日立総合病院、茨城県立中央病院、筑波メディカルセンター病院、水戸済生会総合病院、愛知県がんセンター 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
28床	4年	20施設	16名	8名	6名	18名	可

検査数等 令和6年度手術件数：1,051件

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 74人/日

入院患者数 30人/日 当直回数 1/月 研究日 0/週



脳神経外科

MAP 掲載番号⑦



【総合病院土浦協同病院】 土浦協同病院 脳神経外科プログラム

救急治療科と連携し、3次救急に対応している。脳卒中専門医、脳神経血管内治療専門医、神経内視鏡認定医、神経外傷専門医などが取得可能。県内の一次脳卒中センターコア施設。てんかんセンター。

連携施設

東京科学大学病院、武蔵野赤十字病院、国立病院機構災害医療センター、関東労災病院、東京ベイ・浦安市川医療センター 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
18床	5年	11施設	8名	5名	3名	0名	否

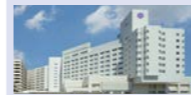
検査数等 2025年 手術数 420件、連携施設含め 3,190件

年収例(1年次) 約93万/月 外来患者数 23人/日

入院患者数 38人/日 当直回数 4.2/月 研究日 0/週



MAP 掲載番号⑨



【筑波大学附属病院】 筑波大学医学医療系脳神経外科

第3次救命救急センターを含む多数の連携施設と筑波大学附属病院で、脳血管障害から腫瘍・機能外科まで幅広く研修可能。豊富な症例数と屋根瓦式指導で、若手から実践力と指導力を養える点が魅力です。

連携施設

日立総合病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、筑波メディカルセンター病院、茨城西南医療センター病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
50床	4年	14施設	26名	16名	10名	7名	可

検査数等 令和7年度手術件数：686件（グループ全体では3000件以上）脳腫瘍237、脳血管障害70、頭部外傷36、水頭症・奇形79、脊髄脊椎9、機能3、血管内163、その他8

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 34人/日

入院患者数 30人/日 当直回数 2~3/月 研究日 0/週



放射線科

MAP 掲載番号⑥



【筑波大学附属病院】 筑波大学附属病院 放射線科専門研修プログラム

基本領域専門医研修申し込みの時点でサブスペ（診断or治療）を決めていただき、早いうちからサブスペに重きを置いた研修をしています。診療内容・症例数・研究ともに国内有数と自負しています。

連携施設

茨城県立中央病院、筑波メディカルセンター病院、日立総合病院、埼玉小児医療センター、都立駒込病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
14床	3年	20施設	37名	19名	18名	13名	可

サブスペ 放射線診断 放射線治療 放射線カテーテル治療

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 250人/日

入院患者数 15人/日 当直回数 1/月 研究日 0/週



検査数等 CT: 18,049件、MRI: 9,659件、IVR: 239件、RI: 2,124件、US: 1,535件 放射線治療: 850 小線源治療: 60 陽子線治療: 450 (令和5年度)

麻酔科

MAP 掲載番号⑩ 【筑波記念病院】
筑波記念病院麻酔科専門研修プログラム

ダヴィンチ、ハイブリッド手術室を活用し、小児麻酔、心臓血管麻酔等を含む年間約2,400例の手術を麻酔科管理で行っています。地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科医を育成します。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
0床	4年	3施設	6名	3名	2名	0名	否

サブス 集中治療科

年収例(1年次) 約56万/年 外来患者数 6人/日

入院患者数 0人/日 当直回数 0/月 研究日 0/週

連携施設 筑波大学附属病院、ひたちなか総合病院、自治医科大学附属さいたま医療センター

検査数等 全身麻酔：2,500件/年、局所麻酔：700件/年

MAP 掲載番号⑨ 【筑波大学附属病院】
筑波大学附属病院麻酔科専門研修プログラム

多くの施設で小児麻酔や心臓麻酔などの特殊麻酔症例が経験出来るため、どのような状況にも対応できる高度な臨床能力を獲得出来ます。十分なサポートが得られる環境下でたくさんの経験を積むことが可能です。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
1床	4年	17施設	35名	14名	13名	12名	否

サブス 集中治療科

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 25人/日

入院患者数 1人/日 当直回数 4/月 研究日 0/週

連携施設 筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院、日立総合病院、水戸済生会総合病院、茨城県立こども病院、茨城県立中央病院 他

検査数等 令和6年度全身麻酔件数：9,629件 / 局所麻酔件数：8,355件 / 無痛分娩件数：10-15件/年程度 / ペインクリニック初診患者 70人/年

病理

MAP 掲載番号⑩ 【筑波大学附属病院】
筑波大学病理診断科専門研修プログラム

附属病院とつくばヒト組織診断センターを合わせ、大学病院としては全国最多の組織診断件数を経験することができます。肺癌診断をはじめとする最新の研究と関連した専門性の高い指導をうけ、専門医取得をサポートします。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
0床	3年	21施設	17名	8名	5名	9名	可

検査数等 令和6年 病理組織診断件数 21,393件(筑波大学附属病院 12,509件、つくばヒト組織診断センター 9,320件) / 病理解剖件数 27件(筑波大学附属病院 20件、つくばヒト組織診断センター 7件)

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 0人/日

入院患者数 0人/日 当直回数 0/月 研究日 0/週

連携施設 水戸協同病院、日立総合病院、茨城県立中央病院、東京医科大学茨城医療センター、水戸医療センター 他

※専門医機構のサブスへのみを掲載

救急科

MAP 掲載番号⑦ 【総合病院土浦協同病院】
総合病院土浦協同病院救急科専門研修プログラム
『茨城県Acute Care Surgery志向型救急科専門医養成プログラム』

特にAcute Care Surgeryを専門領域として目標に掲げる専攻医に対して、広く救急医療、外傷外科、急性腹症、周術期集中治療などを重点的に研修し、連続して外科専門医取得が可能なプログラムです。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
37床	3年	4施設	9名	5名	2名	0名	否

検査数等 救急科での手術件数年間360件(体幹部外傷、急性腹症、他)、ECMO 50件

年収例(1年次) 約120万/年 外来患者数 10人/日

入院患者数 30人/日 当直回数 6/月 研究日 0/週

連携施設 筑波大学附属病院、東京科学大学病院、水戸医療センター、茨城西南医療センター病院

MAP 掲載番号⑧ 【筑波記念病院】
筑波記念病院救急科専門研修プログラム

年間約6,000台の救急車受入、救急科指導医3名のもとで2次救急における救急車・患者の診療、集中治療、また連携施設としての県内外の3次救急の病院で緊急度・重症度の高い症例を学ぶことができます。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
15床	3年	5施設	3名	3名	2名	1名	否

サブス 集中治療科

年収例(1年次) 約900万/年 外来患者数 15人/日

入院患者数 10人/日 当直回数 4/月 研究日 0.5日/週

連携施設 水戸済生会総合病院、聖路加国際病院、浦添総合病院、日本医科大学付属病院、東京医科大学八王子医療センター、茨城医療センター、小豆畑病院

検査数等 検査数等：救急車受入6,200件/年、救急外来受診者11,000人/年

MAP 掲載番号⑩ 【筑波大学附属病院】
茨城県内連携次世代型救急科専門医養成プログラム

高度多様化する救急のニーズに対応し、ERからICU、病院前救護、災害医療、研究にも対応する力を備えた次世代型救急医の養成を目的とします。基幹病院、救命救急センター群、地域中核病院群、地域連携施設群の4種類に研修機関を分け、専攻医の将来像に合わせたテーラーメイド型のプログラム研修を実施します。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
18床	3年	15施設	18名	5名	9名	9名	可

サブス 集中治療科 感染症 放射線カテーテル治療

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 15人/日

入院患者数 26人/日 当直回数 4/月 研究日 1/週

連携施設 日立総合病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、茨城西南医療センター病院 他

検査数等 令和6年度手術件数：814件、救急車年間約4,000台

MAP 掲載番号⑩ 【筑波メディカルセンター病院】
筑波メディカルセンター病院 救急科専門研修プログラム

初期から3次まで、小児から高齢者まで、多様性に富む救命救急センターです。救急現場から治療を開始する病院前救急診療や集中治療にも力を入れ、メディカルラリーなどシミュレーション教育の機会も充実しています。

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績(23~25実績)	外勤の可否
20床	3年	7施設	11名	7名	3名	1名	否

サブス 集中治療科

年収例(1年次) 約850万/年 外来患者数 41人/日

入院患者数 25人/日 当直回数 2~4/月 研究日 0/週

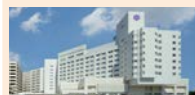
連携施設 筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院、茨城県立中央病院、東京医科大学茨城医療センター、日本医科大学付属病院

検査数等 病院前診療(ドクターカー出動1,081件)、手術件数42件(外傷手術12件、腹部5件、頸部胸部6件)、入院患者総数800人(内因疾患306人、外傷310人、中毒142人、その他CPA蘇生後など42人)

※専門医機構のサブスへのみを掲載

形成外科

MAP 掲載番号⑨



【筑波大学附属病院】 筑波大学形成外科プログラム

形成外科の基礎から多指症、唇裂などの先天異常、外傷（切断指を含む）、マイクロサージャリーを含む悪性腫瘍切除後再建（乳房、頭頸部再建など）など幅広い研修が可能です。専門医取得は期間内で十分可能です。

連携施設

水戸医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院、筑波学園病院、霞ヶ浦医療センター、いわき市医療センター、新東京病院、三井記念病院

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
11床	4年	7施設	42名	17名	5名	8名	可

検査数等 手術件数 年間 約1,000例

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 40人/日

入院患者数 11人/日 当直回数 4/月 研究日 0/週



リハビリテーション科

MAP 掲載番号⑧



【筑波記念病院】 茨城県地域総合リハビリテーション専門研修プログラム

県外のリハビリ専門病院でも研修でき、急性期リハ、回復期リハ病棟における専門的なリハビリ、療養病床や老健施設、通所リハ、訪問リハの生活期リハビリまで総合的なリハビリを繰り返しています。

連携施設

水戸赤十字病院、ひたちなか総合病院、帝京大学医学部附属病院、TKGリハビリテーション病院(ルヴィーブル)(2026年6月新設)、戸田中央リハビリテーション病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
152床	3年	10施設	3名	2名	2名	1名	否

検査数等 週4回の装具・車いす外来、ボツリヌス治療外来

年収例(1年次) 約900万/年 外来患者数 90人/日

入院患者数 145人/日 当直回数 3/月 研究日 0.5日/週



MAP 掲載番号⑨



【筑波大学附属病院】 つくばリハビリテーション科専門研修プログラム

急性期リハビリテーション治療、多職種チームによる摂食嚥下療法、リハビリテーションロボット、義肢装具療法、医工学融合研究に力を入れています。また、連携施設では回復期から在宅まで幅広く学ぶことが可能です。

連携施設

茨城県立医療大学付属病院、筑波記念病院、志村大宮病院、ひたちなか総合病院

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
0床	3年	10施設	10名	4名	5名	6名	可

検査数等 週に4回の義肢装具外来、月に2回以上のボツリヌス療法、週に3名の装着型サイボーグHAL外来

年収例(1年次) 約600万/年 外来患者数 33人/日

入院患者数 0人/日 当直回数 1/月 研究日 1/週



総合診療

MAP 掲載番号⑩



【筑波メディカルセンター病院】 筑波メディカルセンター病院 総合診療専門研修プログラム

総合診療科の専門研修プログラムは、研修終了時に総合診療専門医の取得を目標とします。まずは、お問い合わせください。

連携施設

筑波大学附属病院、セントラル総合クリニック、大森医院、ひたち田家庭医療診療所、小豆畑病院、笠間市立病院、大和クリニック 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
22床	4年	15施設	8名	3名	2名	0名	否

検査数等 入院/退院患者数442人/439人、平均在院日数14.1日、緊急入院99.1% (44人中438人)、入院最多は感染症(COVID-19、肺炎、尿路感染症、蜂窩織炎、敗血症性ショック、心不全、急性腎障害、電解質異常、意識障害など)

年収例(1年次) 約850万/年 外来患者数 20人/日

入院患者数 17人/日 当直回数 1~3/月 研究日 0/週



MAP 掲載番号⑪



【東京医科大学茨城医療センター】 東京医科大学茨城医療センター総合診療科専門医プログラム

県内屈指のホスピタリスト育成プログラム！豊富な症例、丁寧な指導、多数の同僚で、病院で活躍できる総合診療医にならしましょう！ご希望により、県内外の病院と新たに連携し、ご自身だけのキャリア形成も可能です。

連携施設

麻生飯塚病院、豊田地域医療センター、国立循環器病センター、聖路加国際病院、NTT東関東病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
85床	3~4年	18施設	12名	2名	12名	13名	可

検査数等 平均入院患者数約60名

年収例(1年次) 約30万/月 外来患者数 20人/日

入院患者数 60人/日 当直回数 3/月 研究日 1/週



MAP 掲載番号⑫



【北茨城市民病院】 北茨城市民病院 総合診療プログラム「きたいばらき」

包括的に健康にかかわる問題への助言、臓器別領域を超えた標準的な医療の提供ができる総合診療専門医を養成します。附属診療所である家庭医療センターで、総合診療専門研修1を研修できるため、密な連携が可能です。

連携施設

北茨城市民病院附属家庭医療センター、日立総合病院、茨城県立中央病院、茨城県立こども病院、筑波大学附属病院 他

検査数等

CT件数：5,818件、MRI件数：1,905件、内視鏡件数：2,349件、心臓カテ件数：79件

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
147床	3年	7施設	9名	2名	2名	0名	可

サブスぺ 消化器内視鏡

年収例(1年次) 約1,200万/年 外来患者数 135人/日

入院患者数 99人/日 当直回数 2~3/月 研究日 1/週



MAP 掲載番号⑬



【水海道さくら病院】 水海道さくら病院CCH総診プログラム

茨城県常総市の88床を持つ在宅療養支援病院です。救急から在宅まで全フェーズに対応し、質の高い医療を提供。総合診療・家庭医の指導医による集合知を活かし、幅広い診療能力を養える教育病院を目指しています。

連携施設

同善病院、同善会クリニック、桜新町アーバンクリニック、たちばな台病院、本多病院 他

当科 病床数	研修期間	連携 施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績 (23~25実績)	外勤の 可否
88床	1年	26施設	6名	3名	1名	1名	可

検査数等 救急患者受入件数 年間369件(前年度実績)、訪問診療患者数 244人(2026年2月現在)

年収例(1年次) 約70万/月 外来患者数 10人/日

入院患者数 25人/日 当直回数 1~4/月 研究日 応相談



※専門医機構のサブスぺのみを掲載

都心からすぐ

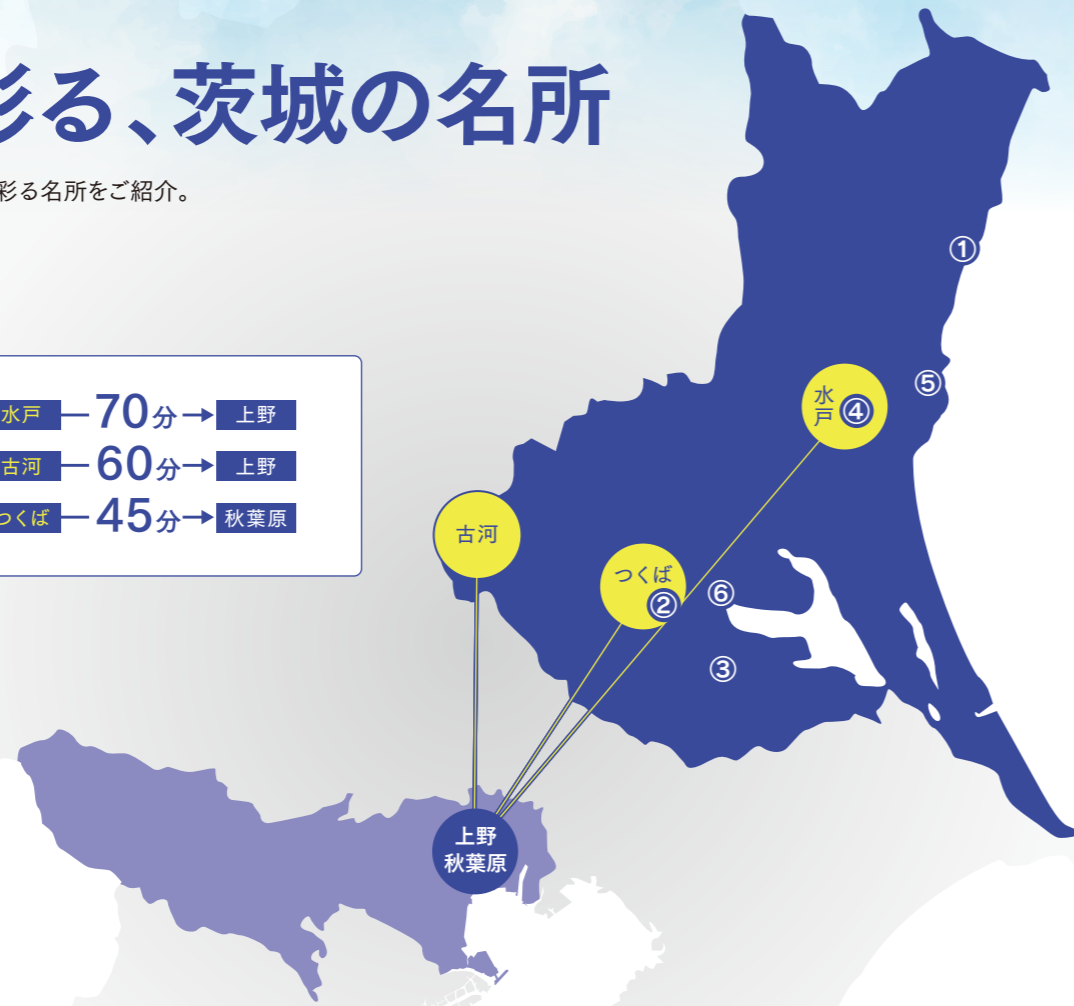
表紙を彩る、茨城の名所

優れたアクセスと、研修生活を彩る名所をご紹介します。



都内への
アクセスが充実

水戸 — 70分 → 上野
古河 — 60分 → 上野
つくば — 45分 → 秋葉原



表紙に掲載した写真には、茨城県内を代表する風景が写っています。海辺の開放感、季節の花々、歴史ある庭園、そして研究学園都市ならではの街並みなど、それぞれに異なる魅力をもつ名所をご紹介します。

①日上市

日立駅

太平洋を望む展望イベントホールを備えた、日上市を代表する景観です。ガラス張りの駅舎は、景観と建築の両面で高く評価されています。



②つくば市

研究学園都市

つくば市は、日本を代表するサイエンスシティとして発展してきた街です。研究機関が集積する都市ならではの、整然とした街並みが印象的です。

写真出典：つくば市ホームページ



③牛久市

牛久大仏

地上120メートルを誇るギネス登録されている牛久大仏は、県南を象徴する名所のひとつです。大仏の存在感に加え、周辺では四季折々の花々も楽しめます。



④水戸市

偕楽園

偕楽園は、日本三名園のひとつとして知られる水戸の代表的な名所です。約100品種3,000本の梅が植えられ、歴史ある庭園美と四季の風景を楽しめます。



⑤ひたちなか市

国営ひたち海浜公園

春になると、約530万本のネモフィラが丘一面を青く彩ります。空と海、そして丘が一体となる風景は美しく、茨城を代表する季節の名所として広く親しまれています。



⑥土浦市

つくば霞ヶ浦りんりんロード

旧筑波鉄道の廃線敷と霞ヶ浦湖岸を活用した、全長約180kmのサイクリングコースです。霞ヶ浦の水辺の景観や筑波山周辺の自然を感じながら、茨城の風景を楽しめます。



茨城県地域医療支援センターについて

地域医療のプロフェッショナルとして成長できるよう、多角的な支援体制で支えます。

明日の茨城の医療を担う若手医師を応援します。

茨城県では、県地域枠などの医師修学資金を活用した修学生医師をはじめとする若手医師の皆さんが、県内の医療機関で充実した勤務をしながら自分の希望に応じたキャリアアップが図れるよう、若手医師の皆さんをサポートする「茨城県地域医療支援センター」を平成24年4月に設置しました。地域医療支援センターでは、本県の医療に精通した医師であるキャリアコーディネーターとの個別面談などのキャリア形成支援のほか、県内の医療機関、県医師会、地域枠設置大学等と協力し、地域医療のために必要な手技から最先端の高度医療まで、医師の皆さんが若いうちに学ぶべき知識や経験を得ることができるよう、各種研修会を開催するなどの支援を行っています。是非、本県の地域医療で専攻医としてのスタートを切ってみてはいかがでしょうか。茨城県は、皆様をお待ちしています。

育成する医師像

プライマリケアに広い知識・経験を有し、全ての医療場面において指導的立場から茨城の地域医療に貢献できる医師を育成する。

到達目標設定

2年終了時

あらゆる疾患に対する初期対応（問診、診察、検査、処置、治療、上級医への相談）ができる。また、臨床研修医への適切な指導ができる。

4年終了時

全ての初診および救急患者に対する初期対応に加えて、患者のかかえる問題を解決するための検査、治療計画を自ら立案できる。

6年終了時

救急を含む全てのコンプロブレムに適切に対応し、チーム医療の中心的役割を果たすことができる。また、自らの専門領域においても適切な検査、処置、治療を行うことができ、なおかつ高度医療に貢献できる。

9年終了時

優れた指導能力を有するとともに、今後の医師としてのキャリアの中で、茨城県の医療にどのような形で貢献できるのか、自らの将来計画を具体的に描くことができる。

茨城県地域医療支援センターの取り組み

1 修学生医師等のキャリア形成支援

キャリアコーディネーターとの個別面談や情報提供を通じた、キャリアパスの作成・提示、専門医・認定医資格の取得支援等

2 総合相談窓口の設置と情報発信

総合相談窓口の設置や、全国の医師や医学生に対する本県での勤務の魅力を伝える情報の発信

3 医師確保計画に基づく医師不足地域の病院等への医師の派遣事務

医師確保計画に基づく県内医師の配置調整

4 指導医の養成と研修体制の整備

指導医の養成支援、地域医療に従事するために必要な技術習得のための研修会開催等

5 地域医療に従事する医学生・医師の支援

地域医療の現場に触れる修学生セミナーや修学生の集いの開催

6 地域医療関係者との意見調整

県内医療関係者が一体となって取り組むための意見調整

茨城県の医療について

第8次(前期)茨城県医師確保計画(令和6年度～令和8年度)

医師偏在指標における
茨城県の全国順位

全国第 **43**位
(下位33.3%)



茨城県は医師少数県

二次医療圏では、つくば、水戸が全国330医療圏の上位33.3%に含まれる医師多数区域である一方、取手・竜ヶ崎、筑西・下妻、古河・坂東、日立、常陸太田・ひたちなか、鹿行は全国下位33.3%に含まれる医師少数区域です。

これからの茨城県の医療提供体制と医師確保

● 本計画の目標

県地域医療対策協議会において医師確保の必要性が認められたもののうち、政策医療提供体制を維持・強化するために、県が特に緊急的な対応が必要と判断したものを「最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科」として随時選定し、本計画の数値目標に設定します。

● 医師確保の方針と重点化の視点

医師確保の方針

本県は医師少数県であることから、医師の増加を図ることとし、医師の養成・定着や県外からの医師確保に取り組みます。

特に県内の医師少数区域の医師の増加を図り、医師多数区域は県内医師少数区域への医師派遣に努めます。

地域における救急、周産期、小児救急等の政策医療を担う中核的な医療機関が、役割分担に沿った医療機能を維持・発揮できるよう医師の確保に取り組みます。

● 重点化の視点

① 医療提供体制の充実

全ての県民の安心・安全を守り、質の高い医療を提供

② 医志*の実現・キャリア形成と魅力ある環境づくり

県内高校生の医学部進学と県内でのキャリアアップ、ライフステージに応じた働き方を支援

*医師を目指す志

③ 関係機関の連携・協働

県、大学、医療機関、関係団体等が議論を通じて医療資源の最適化を図る

医師偏在指標とは？
医師偏在指標は全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に評価するため、地域の人口の性別・年齢構成や患者の流出入等の医療ニーズと医師数を考慮し国が算定

二次・三次医療圏	医師偏在指標	全国順位	区域	標準化医師数(2020年)	(参考数値) 全国下位33.3%を脱するために必要となる医師数
全国平均	255.6	—	—	—	—
茨城県	193.6	43	少数	5,632	6,384
つくば	337.7	23	多数	1,335	—
水戸	231.2	94	多数	1,214	—
土浦	184.4	204	—	551	—
取手・竜ヶ崎	173.3	235	少数	827	836
筑西・下妻	153.0	284	少数	294	318
古河・坂東	148.8	292	少数	353	399
日立	140.3	308	少数	410	494
常陸太田・ひたちなか	140.3	309	少数	405	485
鹿行	137.2	315	少数	242	296

※全都道府県の医療圏の合計数は330

医師確保の施策

1 医師養成課程を通じた医師確保

養成過程	現状・課題	施策
高校生	●医師の増加のためには県内高校生等の医学への興味と本県の医療状況への理解を深め、医学部進学者数を増やす必要	■県内高校等における医学コースの設置 ■医学部進学者向け教育ローン利子補給 ■医師の県内中学・高校等への訪問、地域枠説明会
医学生	●これまで、本県は地域枠等の設置・拡大等により、将来確実に医師不足地域に勤務する医師を養成・確保 ●国の医師需給推計・偏在指標により算定される将来時点の必要医師数を踏まえ、医師の養成を図る必要	■各種修学資金貸与制度(地域枠、一般、海外、市町村) ■自治医科大学運営に対する支援 ■地域医療支援センターによる修学生等支援
キャリア形成 (臨床研修医、専攻医等)	●医師は臨床研修を行った都道府県に引き続き勤務する割合が高いことから、県内外から多くの研修医を採用する必要 ●修学生医師の増加や2020年度以降の入学から水戸保健医療圏が医師不足地域外となることを踏まえ、医師不足地域における研修体制を整備する必要 ●医師の診療科偏在が顕著であることから、本県で不足する診療科の専門医を養成する必要	■県医師臨床研修連絡協議会を中心としたPR、指導体制の充実 ■キャリア形成プログラムの策定と魅力向上 ■医師のキャリアアップ支援(専門医の認定支援、研修体制整備、海外派遣等) ■地域偏在のさらなる是正に向けた地域枠制度の抜本的な見直し ■医師修学資金貸与制度における「推奨診療科」の設定等による、将来不足が推計される各診療科への誘導

2 短期的な医師の確保

現状・課題	施策
●地域医療において、医師少数区域の中核病院や救急、周産期、小児救急等の政策医療機関の医師確保が重要 ●特に早急な対応が必要な医療機関・診療科はあらゆる方策やアプローチが必要	●医師の派遣調整 ・地域医療構想調整会議との連携による医師配置調整 ・地域枠医師等へのキャリア形成プログラムの適用 ●県外からの医師確保 ・「いばらき医療大使」等による医科大学との新たな関係構築 ・ウェブサイト等を活用した県外医師への個別アプローチ、県内医療機関へのマッチングによるU・I・Jターンの促進 ・寄附講座の設置、県外大学との連携プログラムの作成促進

【医師の配置調整】

① 医師派遣を要望
地域医療構想調整会議

② 地域偏在、診療科偏在、政策医療機能等における必要性・重要性を審議

③ 医師の派遣を要請
茨城県地域医療対策協議会
茨城県地域医療支援センター

④ 医師を派遣
県内医療機関
地域のの中核病院、救急・小児・周産期等の政策医療機関

筑波大学等
医師派遣大学・
医師多数区域の医療機関

3 魅力ある勤務環境づくり

- 特定行為研修修了看護師の活用等によるタスクシフト/シェアを推進
- 医療勤務環境改善支援センター等において若手医師等の育児・就業や医療機関の勤務環境改善の取組を支援し、県内定着を促進
- 医師の働き方改革を進めるため、県民へ救急電話相談やかかりつけ医の活用等を周知

5 計画の推進体制

- 県、市町村、医師会等関係団体、医療機関、筑波大学、地域医療対策協議会・地域医療支援センターが役割を認識し、連携・協働して計画を推進

4 茨城県地域医療支援センター

- 令和元年度より筑波大学内に分室を設置。本県地域医療のコントロールタワーの確立を目指す。
- ・キャリアコーディネーターや教育インストラクターによる修学生の卒前教育、キャリア形成支援
- ・本県勤務の魅力など総合的な情報発信

一般若手医師対象事業

キャリア形成支援

01 医師海外派遣事業

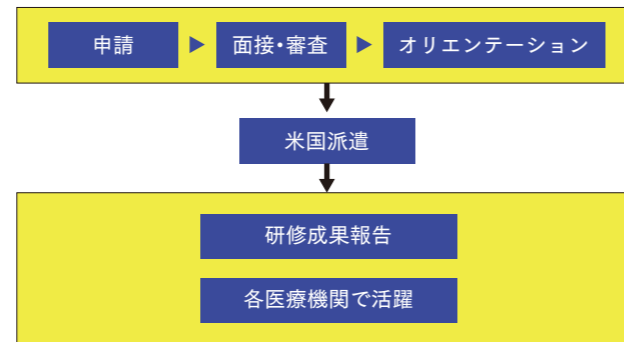
指導医団国外派遣事業・米国(ハワイ)

対象: 県内医療機関に勤務する指導医等
募集人数: 4名
期間: 1週間程度

県内の意欲ある指導医を米国ハワイに1週間程度派遣し、当地の医療現場や医療施設などで世界標準の指導教育方法を学んでいただきます。



公益財団法人日米医学医療交流財団の当地とのパイプを生かし、他では実現できない充実したプログラムを構築

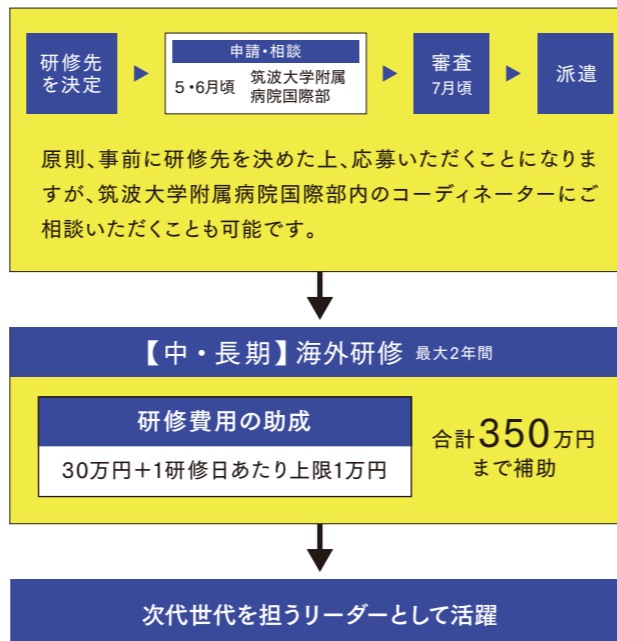


短期

グローバル人材育成プログラム

対象: 県内外の医師等
募集人数: 5名程度
期間: 最大2年間

高い倫理観と地域医療への使命感を持った若手医師を欧米等の医療現場へ派遣することにより、国際感覚・高度な技術を習得した優秀な人材を育成します。



中・長期

02 診療技術指導(教育回診)

総合診療科の第一人者である徳田安春先生が、県内の各医療機関を巡回し、直接、先進的かつ実践的な指導を実施します。

期日: 第1回: 令和8年5月27日(水)~29日(金)
第2回: 令和8年11月18日(水)~20日(金)
時間: 1医療機関あたりおおむね2時間
(希望により調整します)
場所: 県内医療機関 対象: 若手医師等
内容: ●講義/ベッドサイドレクチャー
●症例発表/研修医が発表する具体的症例に基づいたカンファレンス



03 指導医養成講習会

本県の臨床研修病院等の指導技術の向上を図るため、国のガイドラインに基づいた講習会を開催します。

日程: ①令和8年9月5日(土)~6日(日)(予定)
②令和9年2月6日(土)~7日(日)(予定)
開催方法: WEB開催
対象: 県内の医師 募集人数: 各回48名
受講料: なし



04 医療技術研修会

地域医療に従事するうえで必要となる総合的な診療能力を養成するため、県内医療機関等と連携し医療技術研修会を実施。

JMECC講習会

日程: 未定(調整中)
場所: 県内医療機関
対象: 茨城県内の指導医、研修医
募集人数: 各回6名
受講料: 各回10,000円



エコーハンズオントレーニング

日程: 令和8年11月~12月頃
場所: 水戸済生会総合病院
対象: 県内の若手医師
募集人数: 9名程度
受講料: 10,000円

